



憲法

HuRP 1周年記念祭り

# 9条てんこ盛り



## HuRPの誕生日パーティー！ 9条てんこ盛りのご報告。

2006年4月23日南大塚ラパスホールにて、憲法9条にスポットライトを当て、様々な角度から「平和」について考えてみようという企画したこのお祭り。小雨の振るなか、約80人の方が参加してくれました。参加できなかった方、ぜひ写真で当日の雰囲気をご堪能ください！  
もちろん参加してくれた会員の方々も、思い出して楽しんでください。

### お店を見ながら お腹もまんぞく。

「てんこ盛り」の名のとおり、たくさんの出展ブースも今回のお祭りの売りのひとつ！ チヂミやゆず茶、サモサなどの食事は大人気。  
上：日本イスラーム文化センターのサモサ。  
下：9条連の方々のお茶やパンダナ。



### HuRPのブースも……



上：プロフィールをはじめ設立記念イベント、おとなの社会科学見学、ま〜るい世界の料理教室のなど、設立から今日に至るまでの活動内容を紹介しているパネル。特に「松代大本営」のレポートは多くの人が見入る力作。  
下：書籍やカップ、HuRPが委託販売するさまざまな9条グッズ！

### 映像「9NINE —憲法9条は訴える！」上映

「九条の会」呼びかけ人のメッセージや「戦争のつくりかた」の映像版、松元ヒロさんの「憲法くん」も必見です。9条の輝きを再認識できた、と好評でした。



### こ、この方は！



【プログラム】  
13:00～ 開場  
14:00～ HuRP紹介  
映画「9NINE-憲法9条は訴える」上映  
15:40～  
松元ヒロさんのライブ  
17:45～  
私の9条原体験/  
水島朝穂さんのトーク

ものまねをやっているうちにどんどんホンモノそっくりに。実際は流れていないのに何故か、X-JAPANの「Forever Love」が聞こえてきそうな雰囲気です。「私には理解できませぬ〜ん……」という発言は、首相の言うことか？ 松元ヒロさんの皮肉に、会場はニガイ笑いの渦。  
また、日本国憲法誕生の舞台裏の再現は、参加者を釘付けに。見事なパフォーマンスに、会場から熱い拍手が贈られました。

### 水島少年の目に焼き付いた風景



従来、公の場所ではあまり語られることのなかった水島朝穂さんの生い立ちが明かされました。  
時は1960年代。その頃の府中といえば、旧帝国陸軍燃料廠として設置された府中基地が、戦後米軍の管理下に置かれ、極東第五空軍司令部と在日米軍司令部が設置されました。  
まさにその時代、水島少年の目に焼き付いたのは、壁に残る銃弾の痕、悪事を働いた米兵を取り締まらない警察官などの強烈な経験でした。  
付き合いの長い中嶋理事のリードで、久田栄正さんとの出会いにつながるいろいろな話を「暴露」してくれた水島先生。最新著書『憲法「私」論』でも、旅の醍醐味は「道に迷うこと」と語っています。  
いつもとは少し違う先生の人間像を見た感じがしました。

より詳しい報告は、HPにアップする予定です。



### Archive企画のこと

HuRPは、1945年前後から今日までに製作された、人権、平和にかかわる国内外の記録映画を収集、整理し、そこに今日的解説や背景の説明、資料などを加えてあらたに編集し、デジタルアーカイブとして保存したいと考えています。  
また、その上映会なども行っていきたいと考えています。

### 白鳥事件現地調査 第1弾！

HuRP会員有志は、下記の予定で現地取材を行います。  
・6月16日(金)  
松田忠雄さんほかへのインタビュー、国民救援会北海道支部にて資料調査。  
・6月17日(土)  
事件当日の白鳥警部の足取りを追い、村上さんの取調べが行われた警察、大通拘置所支所、旧札幌高裁などをまわり撮影。また、現地にて事件を再現し、目撃証言を検証する。  
・6月18日(日)  
北海道立図書館にて、当時の新聞などの資料収集。可能であれば小樽の警察署などを訪れる。

「疑わしきは被告人の利益に」。この刑事裁判における鉄則が、再審開始に関しても適用されると判断した「白鳥決定」(1975年)。この基準が再審の門を広く、その後4つの死刑事件が、再審で次々と無罪になったのは有名です。  
では、白鳥事件そのものは、一体どんな事件だったのでしょうか。わたしたちHuRPは、アーカイブ事業の一環で、この事件についてのDVD製作を開始します。これから数回にわたって、現地調査のレポートをしたいと思います。まずは、事件の全体像の紹介です。

## 白鳥事件

### 事件について

1962年1月21日午後7時30分頃、札幌市南6条西16丁目の路上で白鳥一雄警部(当時38歳)が自転車に乗り帰宅途中、後ろから自転車に乗って来た男に追い抜きざまに拳銃で撃たれ即死。発砲した男は、そのまま自転車に乗って逃走。  
通行人はまばらだったが、数人の目撃者がおり、その一人、北海道庁の職員は「歳は30歳前後でがっしりした体格の男がもう一台(白鳥警部)の自転車の男に話し掛けている様子だった。その後「パーン」という乾いた音がして、話し掛けられていた男が自転車とともに横倒しになった」と証言。  
当時警察からマークされていた日本共産党は当初この事件への関与を否定したが、後になってこの事件を肯定する声明を出したことから、日本共産党議員5名が逮捕された。取調べの結果、3名が共産党を脱党し、白鳥警部殺害の共同謀議を自供。共産党札幌地区委員会委員長であった村上国治(むらかみ・くにじ)氏が殺人罪共同共謀正犯で起訴された。  
しかしながら検察側は物証に乏しく、3名の脱党者の自白調書と共産党の武装訓練場で採取された弾丸が証拠として提出された。村上国治氏は逮捕から一貫して犯行を否認したが、1963年最高裁判所において懲役20年が確定した。

### 人権・平和をめぐる動向

ここでは、人権や平和に関する事件や、気になる動きをコンパクトにまとめた、ホームページの「人権・平和をめぐる動向NOW」(毎週金曜日更新)から、主なニュースをピックアップして掲載します。「いま」を把握するときの参考に。

### 人権 Human Rights

表現の自由を守れ！〜立川反戦ビラ配布事件■無罪が一転し、東京高裁で有罪となった立川反戦ビラ配布事件の被告の弁護団は5月31日、最高裁に上告趣意書。この件ではHuRP理事長の浦部法徳教授なども声明(<http://www4.ocn.ne.jp/~tentamura/seimeid4.html>)。

アムネスティが年次報告書を公表 ■5月23日アムネスティ本部は年次報告書を公表。多くの国で「テロとの戦い」の名の下に人権が犠牲になっていると指摘。  
自宅軟禁のスーチーさんと国連事務次長が面会 ■5月20日、ガンバリ国連事務次長は自宅軟禁下にあるミャンマー民主化運動指導者、アウンサン・スーチーさんと面会、元気そうだったよう。

共謀罪法案、国会が緊迫 ■犯罪を実行しなくても、合意しただけで罪に問える「共謀罪」新設法案は、19日の採決は見送られたが、国会での緊迫が続く。

日本など国連人権理事会に当選 ■5月9日、国連総会人権理事会(47カ国)の理事国選挙が行われ、日本も当選。国際人権団体から異論が出されていた中でイランは落選。米国は立候補せず。

### 平和 Peace

無防備地域宣言運動、全国各地ですすむ ■全国各地で無防備地域宣言運動がすすめられている。千葉・市川市、神奈川・竹宮町、東京・日野市、東京・国立市、東京・大田区…。

国連平和構築委メンバー、日本など31カ国決定 ■国連総会は5月16日、紛争後の復興を支えるための「平和構築委員会」組織委員会のメンバーとして、日本など31カ国を確定させた。

米軍基地問題で首相・沖縄県知事が会談 ■5月11日、小泉首相と稲嶺・沖縄県知事が会談。米軍普天間飛行場の辺野古へへの移設などが進められる予定となった。地元の反発は必至。

衆院に教育基本法特別委設置 ■5月11日、衆院本会議は、教育基本法「改正」案を審議する特別委員会の設置を議決。「愛国心」盛り込みなどに多くの市民が反対。